8月10日は「道の日」

道路ニュース

THE ROAD NEWS No. 552
平成２７年１１月号

発行所 全国道路利用者会議
〒100−0013
東京都千代田区霞ヶ関3−3−1
尚友会館6階
電話　03−3501−5611㈹
発行人　和田　浩
定価　20 円（会員の購読料は会費に含む）

全国道路利用者会議 第65回全国大会開催

長期安定的な道路整備の推進を!!

全国道路利用者会議は、10月22日（木）新潟県新潟市の新潟県民会館「大ホール」において第65回全国大会（臨時総会）を開催した。約1，000名が参加し、森国土交通省道路局長（国土交通大臣代理）、寺田新潟県副知事（新潟県知事代理）、古木新潟市副市長（新潟市長代理）、尾身新潟県議会議長など、来賓が多数出席。道路整備に対する意見発表、役員の一部改選等が行われ、地域の安全・安心、国土の強靱化、地方創生を実現し、必要な道路整備を着実に推進することなどを求める大会決議の採択を行った。

大会は、佐藤邦義全国大会実行委員会委員長（田上町長）の「本県は、高規格幹線道路の未整備区間解消、道路の老朽化対策、防災、減災対策及び交通安全対策など、いまだ十分とはいえない状況にある。これらの課題の解決を、強く要望するとともに、道路利用者が求める、真に必要な道路整備の推進に向けて、古賀会長のもとに総力を挙げて取り組まなければならないと考えている。」との開会挨拶ではじまった。続いて、古賀誠全国道路利用者会議会長が「平成21年に道路特定財源が一般財源化され、財源の確保にますますの厳しさを増す状況にある。また、東日本大震災からの復興もまだまだ遠い状況である。そうした中で、私どもは、道路事業の整備の必要性と重要性をさらに皆さんと一緒に、国民の理解を得るために、声を大きく上げていかねばならない。また、戦後70年経つ今、新しい道路事業の問題もさまざま生じている。それにどう応えていくか。当会議の責任は、一層重いものがあろうかと思う。」と挨拶を行った。次に、森昌文道路局長（国土交通大臣代理）が「公共事業予算は、長期的、安定的、持続的であるべきである。このため、国土交通省とても、今日ここにお集まりの道路利用者の皆様の幅広い意見を伺いながら、必要な道路の整備を着実に推進し、活力ある国土づくりに取り組んでいきたい。」と挨拶をした。

地元からは寺田吉道新潟県副知事（新潟県知事代理）が「近年、道路ネットワークの整備、老朽化した道路施設の維持、補修などに、道路整備に関するニーズは高まっているが、十分に確保されているとはいえない。国土の均衡ある発展のためにも、皆様と連携しながら、道路整備に必要な予算を確保するため、県としても全力を挙げて努力してまいりたい。」と挨拶、次いで、古木岳美新潟市副市長（新潟市長代理）が「新潟市においても、日本海沿岸東北自動車道のミッシングリンクの解消や、航空機産業の育成を図っていくうえで、地域の産業経済を支える道路整備の充実、強化は欠かせない。長期的かつ安定的な道路整備の一層の推進に向け、全国の関係する皆様が一堂に会するこの大会は、個性豊かな地域の発展に向けて、非常に意義深いものと考えている。」と挨拶。続いて、尾身孝昭新潟県議会議長が「地方が活性化するためには、そこに住む住民が安全、安心を実感できることが重要である。道路整備により、命の道として緊急搬送時間が大幅に短縮されるとともに、人口集中の是正や交流人口の増加、物流の効率化による産業の地方分散など、国土の均衡ある発展を強く願っている。」と挨拶を行った。

議事では須藤弘三全国道路利用者会議副会長（宮城県トラック協会会長）を議長に指名し議事に入った。

最初に、上村憲司津南町長から「防災、減災、老朽化対策、地方創成などは、地方においても、喫緊の課題であり、対策を推し進める必要がある。特に地方創成は人口減少による地方の衰退に対応するため総力を挙げて進める必要があり、コンパクト・プラス・ネットワークの促進や、ストック効果を重視した道路整備を進め、地域の活力を取り戻すことが重要である。」と道路整備を求める意見発表が行われた。その後、大会決議案を入村明妙高市長が朗読し、全員一致で採択された。

また、来年度の全国大会について、常光秀夫広島県・広島市道路利用者会議事務局長から発言があり、平成28年10月13日(木)に広島市で開催されることを賛成多数で了承された。

最後に、村山秀幸全国大会実行委員会副委員長（上越市長）の閉会のことばにより大会が終了した。

大会後、吉田博氏（新潟県教育庁世界遺産登録推進室参与）による講演会「世界遺産候補　佐渡金山について」が行われ、終了後に、越後・しまの道コース、震災からの復旧・復興の道コース、信州・高原の道コースにわかれ道路視察が行われた。

《関連記事は2・3面》

決　議

地域の安全・安心、国土の強靱化、地方創生を実現し、経済に好循環をもたらすストック効果を早期に発揮させるため、既存の道路を最大限に活用し、長寿命化を図るとともに、必要な道路整備が進められるよう、次に掲げる項目を道路利用者の意見を十分反映しつつ、計画的かつ着実に推進すること。

一、東日本大震災の迅速な復興を推進、事前防災・減災対策の推進による災害に強い道路の構築
一、高規格幹線道路等の未整備区間の解消、暫定二車線区間の四車線化の早期実現
一、道路の老朽化対策における人材育成、点検・診断、補修等に対する財政措置の充実
一、人流・物流の円滑化のための渋滞対策の推進
一、通学路を含む暮らしの道の交通安全対策の推進
一、「スマートIC」や「道の駅」、SA・PAの整備、「無電柱化」の推進

右項目の推進に必要な予算を確保したうえで、長期安定的に道路整備が進められるよう、平成二十八年度道路関係予算は、要求額を満額確保すること。

平成二十七年十月二十二日

全国道路利用者会議
第六十五回全国大会

来賓紹介

森昌文国土交通省道路局長（国土交通大臣代理）、寺田吉道新潟県副知事（新潟県知事代理）、古木岳美新潟市副市長（新潟市長代理）、尾身孝昭新潟県議会議長

【国会議員・本人】
《衆議院議員》
黒岩宇洋、中原八一
《参議院議員》
佐藤信秋（全国道路利用者会議会長特別補佐）

【国土交通省】
藤山秀章国土交通省北陸地方整備局局長、菊地春海国土交通省道路局環境安全課長

【高速道路株式会社】
中川裕明東日本高速道路㈱建設・技術本部技術統括部長、大川幸寛中日本高速道路㈱技術・建設本部建設企画部担当部長、前邦彦西日本高速道路㈱建設事業本部建設事業部長、大庭孝之首都高速道路㈱計画・環境部担当部長、岡本博阪神高速道路㈱取締役常務執行役員、金崎智樹本州四国連絡高速道路㈱取締常務執行役員、福田雅旨東日本高速道路㈱新潟支社支社長

【国会議員・代理】
《衆議院議員》
石﨑徹、細田健一、金子恵美、長島忠美、漆原良夫、菊田真紀子、斎藤洋明、西村智奈美、鷲尾英一郎
《参議院議員》
風間直樹、田中直紀、塚田一郎、水落敏栄

【祝電】
《衆議院議員》
石﨑徹、金子恵美、長島忠美、髙鳥修一、漆原良夫
《参議院議員》
風間直樹、田中直紀、塚田一郎、佐藤信秋、水落敏栄
〈敬称略〉

安全・安心の道づくりを求める全国大会　開催

11月5日(木)、東京・日比谷公開において、約2，000名が参加した「安全・安心の道づくりを求める全国大会」が、全国道路利用者会議、道路整備促進期成同盟会全国協議会、全国高速道路建設協議会、全国街路事業促進協議会の四団体共催により開催された。詳しい内容は12月号に掲載。

平成27年度
「道路ふれあい月間」推進標語

最優秀賞

『いい出会い　いい道からの　贈り物』

“道路総合システムサービス”企業
NICHIREKI
ニチレキ株式会社
東京都千代田区九段北4-3-29　TEL 03(3265)1511代表